

## 委員会議事概要

1. 委員会名	令和3年度 第3回沖縄県内水面漁場管理委員会
2. 開催日時	令和3年10月22日（金） 15:15～16:21
3. 開催場所	県庁9階農林水産部第4会議室
4. 出席委員 (定数8名中7名)	<p>(会場参加)</p> <p>立原一憲委員、古谷千佳子委員、仲村直委員、津波古優子委員、金城政達委員、伊波實委員</p> <p>(WEB参加)</p> <p>山川彩子委員</p> <p>(欠席)</p> <p>宮良工委員</p>
5. 議事録署名人	仲村委員、津波古委員
6. 議事内容	
(1) 第1号議案	リュウキュウアユの採捕承認について (P1～P36)
【要旨】	株式会社沖縄環境保全研究所、一般財団法人美ら島財団から試験研究目的の採捕申請が2件あり、原案どおり全て承認された。
【特記事項】	<p>1. 株式会社沖縄環境保全研究所の承認申請について</p> <p>【立原議長】 サーバーネットで採捕された場合、直ちに再放流するのは不可能。採取物を全部ホルマリン固定すると思うので、標本の中にリュウキュウアユが入った場合に報告するよう訂正した方が良い。</p> <p>【事務局】 承認証には、死亡した場合は標本として保管するか適切に廃棄するという文言が入っているので、交付するときに説明する。</p> <p>【津波古委員】 サーバーネットでサンプリングしたものだけ承認するのか。たも網は、委員会で検討しないのか。</p> <p>【立原議長】 たも網はフローチャートで承認申請の対象から外されているので、審議対象にならない。</p> <p>【伊波委員】 大井川、平良湾、有銘湾では、生息を確認されたのか。</p> <p>【立原議長】 この調査対象区では未確認。アユが遡上する可能性のある川全体を承認対象とし、その川がある市町村を規制対象とし、対象市町村内の川で調査を行う場合には許可が要る。</p> <p>【事務局】 場所で承認が必要なところは、名護市、今帰仁村、大宜味村、国頭村、東村の内水面と規定している。</p> <p>2. 一般財団法人美ら島財団の承認申請について</p> <p>【伊波委員】 毎年展示用での申請をされているのか。毎年申請書を出</p>

	<p>して、捕獲されているという理解でいいか。</p> <p><b>【立原議長】</b> 昔、源河の種苗センターで種苗を生産していたときは、そこから放流用の種苗が供給されたが、今は美ら島財団が、展示用に使う親魚を採捕して、増殖させている。いつもは私が毎月川に入って調査をし、生息数を確認した上で許可を出しているが、この2年間、米軍基地内にある河川の調査が難しく、調査が出来ていない。採捕尾数は、100 個体以内だが、注釈で、現場で、採捕しても大丈夫か確認してから採捕するように指示して欲しい。環境調査会社からハラマタ川はほとんど生息していないと聞いている、採捕予定のサンヌマタ川の生息状況を把握できていないので、採捕場所での生息個体数を确认后、適切な個体数を取るように指示してほしい。</p> <p><b>【事務局】</b> 現場を確認し、問題ない範囲で採捕するように説明する。</p> <p><b>【津波古委員】</b> 例えば 100 尾捕獲する場合、現地にどれくらいいれば 100 尾取っても大丈夫か。</p> <p><b>【立原議長】</b> 普通は 10%以内だが、10%採捕したら大きな影響がでる。サンヌマタで例年この時期は、普通の数であれば 5,000 から 10,000 程度生息しているが、全く状況が分からないので、判断しかねる。例年と同じぐらいの個体数であれば、100 というのは問題ないと思う。</p> <p>最初に増養殖を始めたときは、一緒に行ってやっていて、産卵期のどの時期に採捕するのかにより卵の状態も変わるので、採捕申請数を多めに出している。例えば、最初に 10 匹採捕して、増養殖に十分な個体が採捕できたら、終わりにするのが普通のやり方だ。また展示用種苗に、100 個体できれば十分なので、個体数はそんなに取らないと思う。</p>
(1) 第 2 号議案	<p>沖縄県知事等又は職員の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について (P1~P36)</p>
<b>【要旨】</b>	<p>11 月議会で提案が予定されている「沖縄県知事等又は職員の損害賠償責任の一部免責に関する条例」について、当委員会に、条例制定の同意への協議があった。これに対して、異議はなく、同意された。</p>
<b>【特記事項】</b>	<p>特になし</p>
(1) 第 3 号議案	<p>中央省庁への提案書作成に係る提案内容の検討及びアンケート調査の回答について (P1~P36)</p>
<b>【要旨】</b>	<p>全国内水面漁場管理委員会から、中央省庁への提案書の作成に係る提案内容の検討及びアンケート調査への協力依頼があり、事務局案の一</p>

	部を変更することで、承認された。
【特記事項】	【立原議長】外来生物対策で記載されたコクチバスは、沖縄にいるか。 【事務局】沖縄総合事務局の北部ダム事務所の報告書に掲載をもとに記載したが、実際の生息は確認していない。 【立原議長】多分まだ琉球列島には入っていない。 【事務局】コクチバスの部分は削除して回答する。 【立原議長】沖縄には内水面漁業がないので、ほとんどが「なし」の回答や、実際に被害があっても分からない。